

第3回「ことばと出会うシンポジウム」 あなたを彩ることばはいくつ？ ～ “ふくふく” を生きるということ～

野村雅夫×サヘル・ローズ×染谷西郷
10/19(日)13時～@箕面市立文化芸術劇場

❖ 概要

大阪大学グローバルキャンパス(箕面キャンパス)では、外国語学部・大学院人文学研究科外国学専攻主催のシンポジウムを毎年開催しています。今年は、10月19日(日)箕面市立文化芸術劇場において、「あなたを彩ることばはいくつ？～“ふくふく”を生きるということ～」と題して、市民の皆様へ学びの場を提供します。

今回のテーマは複言語・複文化(ふくふく)。外国にルーツを持ち様々な分野で活躍する野村雅夫さん、サヘル・ローズさん、染谷西郷さんのお話を通して、知らず知らずのうちに自分自身に彩りを与えてくれていることばの存在に目を向けます。「ふくふく」とは何か？来場者を交えて考え、自身の中の「ふくふく」を見つけていただきます。

つきましては、本イベントの積極的な周知と当日の取材・出席をお願いいたします。(p.4のフォームから申請をお願い致します。)

また、本シンポジウムは、複言語・複文化共存社会の実現を目指して活動する大阪大学大学院人文学研究科附属複言語・複文化共存社会研究センター(通称:阪大ふくふくセンター)との共催でお送りします。センターの取り組み(詳細はこちら⇒<https://derc.hmt.osaka-u.ac.jp/>)に関する取材のお申込もお待ちしております。



外国にルーツを持つ子どもたちの 学びを支える

目の前にいる子どもを
〈日本語ができない子ども〉
として見ますか。それとも
〈複数のことばと文化を持つ可能性のある子ども〉
として見ますか。
子どもの可能性を奪わない社会を作っていく責任が
私たちにはあるのです。



❖ シンポジウム「あなたを彩ることばはいくつ?～“ふくふく”を生きるということ～」概要

- 【日 時】 2025年10月19日(日) 13:00～16:00(12:15開場)
【場 所】 箕面市立文化芸能劇場(東京建物 Brillia HALL 箕面)大ホール
住所:大阪府箕面市船場東3-10-1
【定 員】 1400名(先着順)
【申込方法】 下記URLもしくは右QRコードから申込
URL: <https://ougaigosympo3.peatix.com>
【参加費】 無料
【プログラム】 ※詳細はp.2～3に掲載



1. 講演:野村 雅夫「言葉を学んで心軽く」
2. 講演:サヘル・ローズ「コトバと生きる～アナタに宿る言霊～」
3. 講演+歌:染谷 西郷「音楽という言語」
4. トークセッション:野村雅夫×サヘル・ローズ×染谷西郷「あなたを彩ることばはいくつ?」

❖ プログラム詳細

1. 講演:野村 雅夫「言葉を学んで心軽く」

たいていの人は、母語をひとつ身につけて育ちます。そして、たとえば日本なら、学校で英語を学ぶことで、言語がひとつではないことを、時にテストで苦労することを通して実感します。すると、身の回りにもたくさん英語由来の言葉があることも気になるし、そもそも世界にはいろいろなものの見方、考え方、価値観があるのだということもわかってくる。

僕は母がイタリア人ですが、イタリア語はまったくできないまま高校を卒業し、大阪大学大学院人文学研究科(当時は大阪外国語大学)で初めてイタリア語を学びました。同時に、まったく違う地域の言語や習慣にも触れて、不思議な解放感を覚えたのです。なぜ異文化に触れることで心が軽くなるのか。経験論として話してみます。

<プロフィール>

1978年、イタリア生まれ。日本で教育を受け、大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程(当時は大阪外国語大学)満期退学。2008年からラジオDJとしてFM802を拠点に活動し、現在は姉妹局FM COCOLOでCIAO 765(月-木、11-15時)を担当している。イタリア文化を紹介する会社「京都ドーナツクラブ」代表として、映画の字幕製作や上映イベント、トークショーなどを行う。ダリオ・アルジェント自伝「恐怖」など、訳書多数。



2. 講演:サヘル・ローズ「コトバと生きる～アナタに宿る言霊～」

私がお話をさせていただきたい事は、外からの声を皆様に届けること。

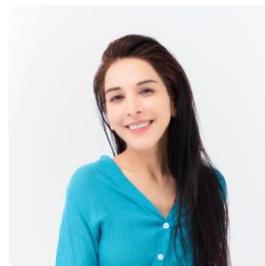
自分自身にコトバがそんなに宿っているのか?と、色彩を見出せない方に、難民キャンプで出会った子ども達が紡ぐコトバを通して、生きていること、今が「当たり前ではない」ことに気づき、会場にいらした方々が自分自身を愛せるヒントと皆さんの中に眠る感性が目覚めます、そんな機会になれば幸いです。

自分をまずは知ることから「ふくふく」は始まると思うのです。

<プロフィール>

イラン出身。7歳までイランの孤児院で過ごし、8歳で来日。舞台『恭しき娼婦』では主演をつとめ、主演映画『冷たい床』ではミラノ国際映画祭をはじめとする様々な映画祭にて賞を受賞。映画・舞台の出演だけでなく、近年では映画監督などマルチに活躍し、2024年には自身が監督を務めた『花束』が公開された。

芸能活動以外にも、個人で国内外問わず支援活動を続け、2020年にはアメリカで人権活動家賞も受賞。昨年はエッセイと自身初の絵本を同時発売するなど、表現者として活動の幅を広げている。



3. 講演+歌：染谷 西郷「音楽という言語」

南アフリカ人と日本人の間に生まれた自分にとっての言語は日本語と英語でした。しかし日本で生まれた自分にとって英語は「捨てた言語」でもありました。

しかし、音楽と出会い、この世界はつながり合える世界だ!ということにも気づきました。今回の公演では「音楽」というものも人と心を通わせる「一つの言語である」という立ち位置から、ライブを構成します。

<プロフィール>

ボーカル染谷西郷、ギター宮田泰治、ギターヨシロウにより、2000年に「FUNKIST」を結成。47 全都道府県でのライブを達成し、南アフリカ、アジア、ヨーロッパ、アメリカなども含む年間 100 本を超えるライブで、世界所狭しと駆け回る生粋のライブバンド。『俺たちが鳴らせば世界が踊る』を合言葉に、ジャンルレスな音楽で世界全てを抱きしめる。

母が南アフリカ出身というバックグラウンドもあり、自分の生き立ちを含めた人権問題をテーマに年間 70 校ほどの学校でのライブ講演も行う。アニメ「FAIRY TAIL」主題歌やゲーム「テイルズシリーズ」のテーマ曲など多くのタイアップを手がけ、現在は楽曲「V-ROAD」が J リーグ・ファーレン長崎や高校野球、高校サッカーの応援チャントとして使用され全国的な広がりを見せている。



4. トークセッション:野村雅夫×サヘル・ローズ×染谷西郷「あなたを彩ることばいくつ？」

それぞれ異なる立場から見た「ことば」について、客席の皆様も交えた参加型トークセッションを行います。自分の中の「ふくふく」と向き合うと、あなたは、世界はどう変わるのでしょうか？

★「ことばのポートレート」を描く

来場者のみなさまには、会場で「ことばのポートレート」という、自分の中にあることばを表現した自画像を描いていただきます。トークセッションでは、描いていただいたポートレートを用いて、どんなことばが、自分にとってどんな役割をもっているか、探し、見つめ直します。



❖ OU グローバルキャンパスについて

大阪大学グローバルキャンパス(箕面キャンパス)では、世界中の言語・文化研究を地域のみならずと共有するイベントや講座を企画しています。その一環として、2023 年から外国語学部・外国学専攻主催のシンポジウムを開催してきました。今年からは新たに「ことばと出会うシンポジウム」と題して、ことばと向き合う機会を市民の皆様に提供していきます。

(詳細はこちら)

<https://www.sfs.osaka-u.ac.jp/pdf/ougc2025-jp.pdf>



❖ 取材申込について

※本イベントについて、ご取材いただける際は、会場設営の関係上、10月10日(金)17時までに以下の登録フォームから申請をお願いします。

【登録フォーム】<https://forms.office.com/r/2u792k23Vn>

❖ アクセス

東京建物 Brillia HALL 箕面(箕面市立文化芸能劇場):<https://minoh-geino.jp/>

住所：大阪府箕面市船場東3丁目10番1号

・梅田方面からお越しの方

大阪メトロ御堂筋線～北大阪急行電鉄「箕面船場阪大前」駅 1番出口からすぐ

・阪急箕面駅方面からお越しの方

阪急バス「箕面駅」から彩都線または箕面山麓線「箕面萱野駅」下車→北大阪急行電鉄「箕面船場阪大前」駅 1番出口からすぐ

・大阪国際空港(伊丹空港)からお越しの方

電車:大阪モノレール「大阪空港」駅～「千里中央」駅～北大阪急行電鉄「箕面船場阪大前」駅 1番出口からすぐ

